



BELS評価書への二次エネルギーの表示

BELS評価書第二面「参考情報」に二次エネルギー消費量が記載されます。^{※1}
この二次エネルギー消費量による住宅のCO₂排出削減量をJ-クレジット^{※2}に用いることが可能です。

【表示イメージ】

■二次エネルギー消費量に関する項目

・設計二次エネルギー消費量			
太陽光発電による削減量	1,610 kWh/年	コージェネレーションによる削減量	0 kWh/年
電力(買電量)	3,747 kWh/年	ガス	8,788 MJ/年
		灯油	0 MJ/年
・基準二次エネルギー消費量			
電力	7,355 kWh/年	ガス	12,066 MJ/年
		灯油	0 MJ/年

※1 二次エネルギーの表示は住宅用途(共用部は除く)に限ります。

※2 J-クレジットとは、経済産業省・環境省・農林水産省が運営している省エネ・再エネ設備の導入や森林管理等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして認証する制度です。
<https://japancredit.go.jp>



BELSと併せて「住まいの燃費通信簿」の取得

日本ERIではBELSのオプションとして、光熱費削減効果と健康維持増進効果を住宅購入者にわかりやすく紹介するツール「住まいの燃費通信簿」をご提供しています。

※ 申請には日本ERIへのBELS評価申請が必要です。

URL:<http://www.j-eri.co.jp/gyoumu/nempitsushimbo>

住まいの燃費通信簿

検索



省エネ適判と併せてBELS評価書の取得

省エネ適合性判定を要する建築物については、省エネ適合性判定の結果(下記①～③の種類等)を用いて、効率的にBELS評価を実施することが可能です。

- ①省エネ適合性判定の際の「計画書」(写し)及び「適合判定通知書」(写し)
- ②省エネ適合性判定(計画変更)の際の「変更計画書」(写し)及び「適合判定通知書」(写し)
- ③「軽微変更該当申請書」(写し)及び「軽微変更該当証明書」(写し)

・省エネ適合性判定 ・BELS申請
(BELS申請に係る添付図書は不要)

建築主

日本ERI

・適合通知書 ・BELS評価書

お問い合わせ先

日本ERI株式会社 省エネ推進部
〒107-0052 東京都港区赤坂 8-10-24 2階
TEL:03-3478-1533 FAX:03-5775-2419
URL:<http://www.j-eri.co.jp>

日本ERI

検索



BELS Building-Housing Energy-efficiency Labeling System

建築物省エネルギー性能表示制度のご案内

BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)とは、住宅・建築物の省エネルギー性能を評価・表示する第三者認証制度です。

省エネルギー性能に特化したシンプルな公的制度です。

BELS評価による住宅・建築物の省エネルギー性能の見える化を通じて、性能の優れた住宅・建築物が市場で適切に評価され、選ばれるような環境整備が期待されています。



BELSは省エネ性能表示の努力義務に対応した住宅・建築物を省エネ性能で格付けする唯一の第三者認証制度です。

建築物省エネ法(正式名:建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律)第7条により、不動産事業者等が販売または賃貸を行う住宅や建築物(新築・既存)において、省エネ性能の表示に努めることが求められています。また、同法に基づく表示の指針により、販売時又は賃貸時に不動産事業者等が省エネ性能について説明することも求められています。

この省エネ性能表示の努力義務に対応する第三者認証制度が住宅・建築物の省エネ性能を格付けするBELSです。

建築物の省エネルギー性能に特化した公的指標として、初めて制定されたBELSは、環境性能を総合的に評価するCASBEE等に対して、項目が非常にシンプルでわかりやすい評価指標になっています。

● 非住宅版と住宅版で中央のデザインが異なります。

● BELSの値に基づいて、星の数で評価されます。

● 省エネ基準に対する削減率が表記されます。

● 評価対象建築物の省エネ基準と誘導基準との比較ポジションが示されます。

● 外皮性能が表記されます。

● テナントや住戸単位の評価の場合は、対象箇所を特定できる情報を記載します。

● ZEBやZEH等の基準に適合すれば、それぞれのマークを表示することができます。

非住宅版

住宅版



ZEB・ZEH等の表示

住宅でZEHやZEH-M、非住宅でZEBに該当する省エネ性能を満足する場合は、「ZEH」、「ZEH-M」、「ZEB」等の表示が可能です。

また住宅については、「ゼロエネ相当」の表示が可能です。

評価対象	表示マーク
住宅 または 住戸	
住棟 ^{※1}	
非住宅 ^{※2}	

※1 住棟または複合建築物の住宅用途全体

※2 非住宅または複合建築物の非住宅用途全体

広告等へのBELS表示

広告物や宣伝用物品等で表示スペースが制約される場合には、表示項目を省略し、次のような表示デザインを使用することが可能です。

【戸建住宅・共同住宅用】



【ZEH表示用】



【非住宅・複合建築物用】



BELSの評価ランク

BELSは、国が定める建築物エネルギー消費性能基準に基づく一次エネルギー消費量から算出されるBEIの値によって評価されます。このBEIの値によって対象建築物の★の数が下表の通り決定します。

$$BEI = \frac{\text{設計一次エネルギー消費量(家電・OA機器等分を除く)}}{\text{基準一次エネルギー消費量(家電・OA機器等分を除く)}}$$

BEIが1.0以下であれば省エネ基準に適合していることになり、数値が小さいほど省エネ性能が高いことを示します。

「設計一次エネルギー消費量」とは、評価対象となる建築物の設計仕様に基づいて算定した一次エネルギー消費量です。また「基準一次エネルギー消費量」とは、設計一次エネルギー消費量の算出と同様の建築条件、計算条件のもと、外皮・設備に標準仕様を採用した場合の一次エネルギー消費量の値です。

なお、一次エネルギー消費量とは、建築物で用いるエネルギー量を一次エネルギーに熱量換算した値です。

評価ランク	BEI		
	住宅	非住宅1 ^{※1}	非住宅2 ^{※2}
★★★★★	0.8	0.6	0.7
★★★★	0.85	0.7	0.75
★★★ 誘導基準	0.9	0.8	0.8
★★ 省エネ基準	1.0	1.0	1.0
★ 既存住宅・建築物のみ ^{※3}	1.1	1.1	1.1

※1 事務所・学校・工場等

※2 ホテル・病院・百貨店・飲食店・集会所等

※3 平成28年4月1日時点で現に存する建築物に限る

一次エネルギー消費量(BEI)の算出手法

BELS評価に用いる住宅・建築物のBEIの算出は、国立研究開発法人建築研究所が提供するWEBプログラムを用います。いずれも誰もが無料で利用することが可能です。

非住宅	①標準入力法	原則、全ての室・設備を計算対象とすることで、詳細な計算結果が得られる。	 手間 精度
	②主要室入力法	標準入力法と同じプログラムを使用。小部屋等の主要ではない室の入力を省略することができる。	
	③モデル建物法	モデル建物に対し、対象建築物の外皮や主要な設備の仕様を適用することで、容易に計算結果が得られる。	
住宅	住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラムを使用 仕様規定も可(BEI=1.0:☆☆)		